

# 基礎科学分野

人間の本質の理解

授業科目	芸術と表現	科目責任者	鹿野 浩子	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件なし
				時間数	30	受講semester	4年次後学期	
学習目的と到達目標	目的	人間の創造性、美意識、その背景となる基層文化について考え、その精神世界を探究する。						
	到達目標	1. 文学、音楽、映画、絵画・彫刻、演劇などを通じて、人間の創造性、美意識、精神世界などを探究し、柔軟な人間性と美的感覚を育む。 2. パフォーマンス（自己表現）の能力を養う。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	映画表現の特質とその歴史の変遷	[講義] 多種多様な映画表現にアプローチするため、その特質と歴史の変遷について基本事項を確認する。					鳩飼	
2・3	二つの日本映画「黄金期」とその代表的作品	[講義] 戦前と戦後のいわゆる日本映画「黄金期」の様相を学ぶとともに、作品例を通じてその多様さを理解する。					鳩飼	
4	作家研究①：溝口健二	[講義] 溝口健二を例に、日本映画における女性表象の変遷と「作家」による表現の違いを考察する。					鳩飼	
5	作家研究②：増村保造	[講義] 増村保造を例に、日本映画における女性表象の変遷と「作家」による表現の違いを考察する。					鳩飼	
6	象徴（シンボル）とは何か	[講義] 人間の表現の1つである「象徴」の語源や構造、役割などを理解し、後の講義の足がかりとする。					松平	
7	ヨーロッパのキリスト教美術にみられる象徴表現	[講義] キリスト教の基本事項を確認しながら、宗教画や教会建築などの具体的な事例をとりあげ、ヨーロッパのキリスト教美術にみられる象徴表現について考える。					松平	
8	ヨーロッパの紋章にみられる象徴表現	[講義] ヨーロッパの紋章をとりあげ、そこにみられる象徴表現の意味を通して紋章の社会的・文化的役割を理解する。映画『ハリー・ポッター』に登場する紋章も扱う。					松平	
9	ヨーロッパの装飾・意匠にみられる象徴表現	[講義] ヨーロッパの一般建築における装飾・意匠の具体的な事例をとりあげ、そこで象徴表現について考える。					松平	
10	象徴表現としてのヨーロッパの怪物	[講義] 現代の身近なロゴマークやテーマパークに見られるヨーロッパの怪物（モンスター）を象徴表現として捉え、その存在意義について考える。					松平	
11	近代文学としての小説	[講義] 小説とはなにか、その問題を小説が近代市民社会に登場した時点にさかのぼって考える。					小西（昌）	
12	物語批判としての小説	[講義] 小説は決して物語ではない。むしろ物語批判としてある小説をロマン主義からリアリズムへの流れで考える。					小西（昌）	
13	虚構としてのリアリズム	[講義] 近代文学の主要な流れを形成したリアリズムが固有の約束事をもつひとつの形式としてあったことを学習する。					小西（昌）	
14	小説の多声性	[講義] 近代文学の極北ともみなされるドストエフスキーの多声性、対話性をみながら、リアリズムの可能性を考える。					小西（昌）	
15	小説の実験	[講義] 「長篇小説の危機」（ベンヤミン）を横目になされたモダニズム文学の実験を、ナボコフを中心に学習する。					小西（昌）	
16	評価						鹿野	
教科書	講義の都度プリント等を配布する。			参考書等	特になし			
履修条件	なし			評価方法	1. 課題レポート（90%） 2. 学習態度（10%） 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	「芸術と表現」は、多様なテーマによるオムニバス形式の授業のなかで、「芸術」の素晴らしさと面白さを身近に感じられるようにし、自分の表現技術を磨くための科目となる。授業終了後も、感性や表現技術を磨いて看護に活かされるようにすること。提示された教材で事前に予習を行い、受講後の復習を行うこと。予習復習時間は12時間以上。							

授業科目	保健体育	責任者	板井 美浩	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 なし
		調整者	鹿野 浩子	時間数	15	受講 Semester	1・4年次 後学期	
学習目的と 到達目標	目的	生涯を通して健康で有意義な人生を送ることに不可欠なよりよいライフスタイル形成についての理論を学ぶ。						
	到達目標	1. 健康の概念をQOLの視点から理解する。 2. 健康を保持増進するための方策を、食事・栄養、運動・スポーツ、生活習慣など関連づけて理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	オリエンテーション  全身持久力の測定 およびドッジボール	<p>[講義] 授業内容および進行方法を説明する。出席カードを作成する。</p> <p>[演習] 自身の体について調べた数値と感覚をつなぐため、形態・筋力・瞬発力・持久力などの測定を行い、現在の行動体力を知る。</p>					板井 (美) 板井 (昶) 佐々木	
2	バドミントン	<p>[講義と演習]</p> <p>「体を育む」体育と「体で育む」体育理論と実践 体育とは、体力を向上させたり技術を身につけたりする 「体を育む」ことだけではない。身体運動を通じて互いの信頼関係を築いたり、場を共有し命の交感を育んだりする 「体で育む」体育がこれからは必要である。 そのことの理解を運動を通じて学ぶ。</p>					板井 (美) 板井 (昶) 佐々木	
3	バドミントン							
4	子どもテニス							
5	子どもテニス							
6	ソフトバレーボール	<p>[演習と講義] 体力・健康のあり方や「命ある私のからだ」について改めて考察する。</p>					板井 (美) 板井 (昶) 佐々木	
7	ソフトバレーボールと まとめ							
8	評価						板井 (美)	
教科書	指定しない			参考書等	なし			
履修条件	なし			評価方法	1. 授業態度評価点(70%) 2. レポート点(30%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	定員は設けないが、希望者が多い場合は実施できる種目に限りがあることを承知の上で履修すること。 毎回の講義、演習に集中して学んでいくこと。予習復習時間は23時間以上。 養護教諭二種免許状の申請に必要な科目である。							

授業科目	医療英語		科目責任者	鹿野 浩子		単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 なし
				時間数	30	受講セメスター	2・4年次 前学期			
学習目的と 到達目標	目的	英語で書かれた医療系文献を理解する力を養う。								
	到達目標	医学英語の知識を身に付け、英語で書かれた論文や医学関係書籍から情報を収集し、発表できる力を養う。								
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法						担当教員		
1	オリエンテーション	[講義・演習] 医学系文献を読む重要性を学ぶ。						鹿野		
2	発表方法1	[講義・演習] 発表方法と聞き方を学ぶ1。						鹿野		
3	医療と健康と経済	[講義・演習] 甘味料飲料、健康、売上高の相関関係を学ぶ。						鹿野		
4	臨床	[講義・演習] 無呼吸症候群の症状、原因とメカニズムを学ぶ。						鹿野		
5	薬害1	[講義・演習] 子供への薬害の事例をアメリカ食品医薬品局の取り組みを通じて学ぶ。						鹿野		
6	医療と法律1	[講義・演習] アメリカと日本における臓器移植法について学ぶ。						鹿野		
7	倫理問題1	[講義・演習] 現代の医療と守秘義務を事例から学ぶ。						鹿野		
8	医療と法律2	[講義・演習] 医療過誤と医療従事者の謝罪の方法について学ぶ。						鹿野		
9	倫理問題2	[講義・演習] 遺伝子操作：クローンについて学ぶ。						鹿野		
10	倫理問題3	[講義・演習] 遺伝子治療・遺伝子改造から倫理問題までを学ぶ。						鹿野		
11	倫理問題4	[講義・演習] 内戦・医療・女性について学ぶ。						鹿野		
12	発表方法2	[講義・演習] 発表方法と聞き方を学ぶ2。						鹿野		
13	発表1	[講義・演習] プレゼンテーションから発表を学ぶ。						鹿野		
14	発表2	[講義・演習] ディスカッションから他者の意見を学ぶ。						鹿野		
15	評価							鹿野		
教科書	指定しない				参考書等	講義時に適宜提示する。				
履修条件	なし				評価方法	1. 発表 (40%) 2. 授業内参加態度 (40%) 3. 提出物 (20%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する				
備考	本授業では英語で書かれた医療文献を理解し、発表できる力を養うことを目的とする。予習として予め文献を読み込み、内容をまとめておくこと。また復習として、文献をまとめると共に何が問題となっているのか問題提起できるようにする。予習復習時間は12時間以上。									

授業科目	スペイン語	責任者	今野 弘子	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 なし
		調整者	大塚 公一郎	時間数	30	受講 Semester	1・4年次 後学期	
学習目的と 到達目標	目的	異文化を理解し、異なる言語を話す人とコミュニケーションをとる基礎能力を養う。						
	到達目標	スペイン語でスペイン語圏の文化を理解し、スペイン語によるコミュニケーションの基礎能力を養う。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	アルファベット、発音、アクセント	[講義・演習] スペイン語のあいさつ、母音、子音、アクセントのルールを学習する。					今野	
2	名詞、名詞の数、冠詞	[講義・演習] 名詞の性・数、冠詞が名詞の性・数に一致することを学習する。					今野	
3	主格人称代名詞、動詞 ser、形容詞	[講義・演習] 動詞 ser の活用と用法 (ser+形容詞、ser+名詞、ser+de+国名) を学習する。					今野	
4	否定文、疑問文、疑問詞 (1)	[講義・演習] 否定文、疑問文の文型、疑問詞のある疑問文の語順を学習する。 1・2課単元テスト					今野	
5	直接法現在規則活用動詞、疑問詞 (2)、接続詞	[講義・演習] 規則活用動詞の活用と用法を学習する。					今野	
6	指示詞、所有詞、曜日、日付、時間表現 (1)	[講義・演習] 指示詞、所有詞 (前置形、後置形)、動詞 ser を用いた時間や日付の表現を学習する。					今野	
7	動詞 estar, ser と estar	[講義・演習] 動詞 estar の活用と用法、ser と estar の用法の違いを学習する。 3・4課単元テスト					今野	
8	動詞 hay, hay と estar	[講義・演習] 人や物の有無、所在の表現、hay と estar の用法の違いを学習する。					今野	
9	直接法現在不規則活用動詞 (1)、時間表現 (2)	[講義・演習] 不規則動詞の活用と用法、前置詞 a を伴う時間の表現を学習する。					今野	
10	直接法現在不規則活用動詞 (2)、目的格人称代名詞	[講義・演習] 不規則動詞の活用と用法、直接目的格人称代名詞と間接目的格人称代名詞を学習する。 5・6課単元テスト					今野	
11	直接法現在不規則活用動詞 (3)、前置詞格人称代名詞	[講義・演習] 不規則動詞の活用と用法、前置詞格人称代名詞を学習する。					今野	
12	動詞 gustar とその他の gustar 型動詞	[講義・演習] 動詞 gustar とその他の gustar 型動詞の活用と用法を学習する。					今野	
13	不定語、否定語 天候表現、比較表現 (形容詞)	[講義・演習] 不定語、否定語の用法、天候を表す動詞、形容詞の比較表現を学習する。					今野	
14	再帰動詞	[講義・演習] 再帰代名詞を伴った再帰動詞の活用と用法を学習する。					今野	
15	試験						今野	
教科書	「Español Colorido(彩りスペイン語)」 辻博子、野村明衣著 朝日出版社、2021年			参考書等	「デイリーコンサイス西和・和西辞典」寺崎英樹、 Enrique Contreras 著、三省堂、2018年 電子辞書に西和単語集があれば、使用可。			
履修条件	なし			評価方法	1. 筆記試験 (50%) 2. 単元テスト (30%) 3. 学習態度 (20%) 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する			
備考	名詞の性の判断のため、辞書の購入は必須。外国語の習得には反復が欠かせないため、必ず予習復習をすること。 予習復習時間は12時間以上。							

授業科目	中国語	責任者	趙 敏	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 なし	
		調整者	鹿野 浩子	時間数	30	受講セメスター	1・4年次 前学期		
学習目的と 到達目標	目的	異文化を理解し、異なる言語を話す人とコミュニケーションをとる基礎能力を養う。							
	到達目標	中国語で中国語圏の文化を理解し、中国語によるコミュニケーションの基礎能力を養う。							
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員		
1	概 説	[講義・演習] ガイダンス、中国と中国語について理解する。					趙		
2	中国語の発音 (1)	[講義・演習] 声調、単母音と子音を学ぶ。					趙		
3	中国語の発音 (2)	[講義・演習] 複合母音、鼻母音を学ぶ。拼音のルールを理解する。					趙		
4	挨拶・自己紹介	[講義・演習] 日常の挨拶表現、自己紹介を学ぶ。					趙		
5	出身地を紹介する	[講義・演習] 人称代名詞、“是”の使い方を学ぶ。					趙		
6	ものを探す	[講義・演習] 指示代名詞、疑問詞疑問文を学ぶ。					趙		
7	場所を探す	[講義・演習] 場所代名詞、動詞述語文を学ぶ。					趙		
8	位置を確認する	[講義・演習] “在”の使い方、反復疑問文を学ぶ。					趙		
9	家族の話	[講義・演習] “有”の使い方、名詞述語文を学ぶ。					趙		
10	買い物をする	[講義・演習] 数字、量詞、疑問詞を学ぶ。					趙		
11	電話をかける	[講義・演習] 時間、時刻、助動詞を学ぶ。					趙		
12	料理の話	[講義・演習] 形容詞述語文、選択疑問文を学ぶ。					趙		
13	気候の話	[講義・演習] 比較文を学ぶ。					趙		
14	復習と課題発見	[講義・演習] 医療用語を学ぶ。診察の会話を練習する。					趙		
15	試 験						趙		
教科書	「スタートダッシュ中国語」氷野善寛、伊藤大輔 等著、朝日出版社、2019年			参考書等	なし				
履修条件	なし			評価方法	1. 筆記試験 (60%) 2. 授業中の小テスト (「聴写」) (30%) 3. 授業参加態度 (10%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する				
備考	中国語をマスターするためには、繰り返して練習することが重要なので、付属CDを聞いて必ず毎回の課題を予習復習する。授業の最初に確認のための小テストを行う。講義の課題に応じ、毎回自律的に予習および復習を行う必要がある。予習復習時間は12時間以上。								

# 基礎科学分野

生活・社会の成り立ち

授業科目	家族社会学	責任者	岩下 好美	単位数	1	必修選択別	必修	履修条件 なし
		調整者	関山 友子	時間数	15	受講セメスター	4年次 前学期	
学習目的と 到達目標	目的	家族とは何かを理解し、現在やこれからの家族の意識の変化、ならびに、家族のあり方が影響を及ぼすと考えられる育児や人格の形成について考察する。						
	到達目標	1. 家族とは何かを理解し、これからの家族の意識の変化を考察する。 2. 育児や人格の形成について考察する。 3. 家族力動理論を学習する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	家族とは何か	[講義] 「家族」は誰にとっても身近なもので、「当たり前」の存在と思われがちである。個人にとって「家族」とは何かを考える。					岩下	
2	生殖補助医療と家族	[講義] ストレス過多の社会、晩産化にともない、子どもに恵まれない夫婦も増加、一方、生殖補助医療の発達により子どもを持つ努力をする夫婦も増加している。そのことは、家族とは何かという問題にも大きく影響している。新しい家族とは何かを考える。					岩下	
3	家族の始まり (結婚)	[講義] 結婚の意味、歴史、現代的様相を学び、家族とは何かを考える。					岩下	
4	夫婦関係	[講義] 夫婦関係を社会学視点からとらえる。夫婦関係の歴史、現代的様相を学ぶ。					岩下	
5	親子関係	[講義] 家族の関係性における親子関係 (子どもの社会化を含め) を、実態の変化を、役割という視点から考える。					岩下	
6	少子化、青少年の問題	[講義] 少子高齢化の問題を取り上げ、その現状と対策等を学ぶ。近代家族から続く、青少年の問題を取りあげ、家族の役割を考える。					岩下	
7	高齢者と家族	[講義] 孤立死、認知症高齢者等、家族の高齢期の理解を深め、高齢患者の問題に気づく基礎を学ぶ。					岩下	
8	ヤングケアラールなど	[講義] 受講生の興味に沿ったテーマで講義。現代の社会事象を理解し家族社会学の枠組みで考える。					岩下	
9	評価	レポート					岩下	
教科書	「家族社会学 基礎と応用 第3版」 木下謙治監修、九州大学出版、2016年			参考書等	「社会学」長谷川公一他、有斐閣、 2007年			
履修条件	なし			評価方法	1. レポート提出 (60%) 2. リアクションペーパー (40%) 3. 学習態度 (減点法) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	家族とは何かを理解し、現代家族の意識の変化、並びに、家族の各段階における課題を把握し、看護職として患者とその家族に対する理解を深めていく科目である。 予習：授業の進み方が速いので、授業前に教科書を読むこと。 復習：レジュメの内容を教科書で確認しておくこと。自分自身の家族について内省し、自分が経験している家族形態以外にも関心の目を向けてみる。予習復習に要する時間は23時間以上。							



授業科目	法学 (日本国憲法を含む)	責任者	田中 嘉彦	単位数	2	必修選択別	選択	履修条件 なし
		調整者	鹿野 浩子	時間数	30	受講 Semester	1・4年次 後学期	
学習目的と 到達目標	目的	主として市民と国家が関わる公法の領域を中心として、「公正」と「正義」という観点から、法的な思考方法と基本概念を理解しながら、社会生活における法的な諸問題を考える。						
	到達目標	1. 日本国憲法を中心として、「法」に関する基本的な概念と体系を理解する。 2. 社会における「法」の役割と市民が「法」を「解釈すること」の意味を考える。 3. 医療の領域において「法」がどのように機能して、運用されているのかを理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	法学入門	[講義] ガイダンスとして、法学の概念・法令情報の調べ方等について学ぶ。					田中	
2	法学概論1	[講義] 法文化・法の種類について学ぶ。					田中	
3	法学概論2	[講義] 法と道徳・刑罰について学ぶ。					田中	
4	法学概論3	[講義] 法令の構造と解釈方法について学ぶ。					田中	
5	法学概論4	[講義] 法令の効力・法令用語について学ぶ。					田中	
6	憲法概論1	[講義] 立憲主義と現代国家について学ぶ。					田中	
7	憲法概論2	[講義] 日本国憲法の基本原理について学ぶ。					田中	
8	憲法概論3	[講義] 基本的人権の原理と限界について学ぶ。					田中	
9	憲法概論4	[講義] 包括的基本権・法の下での平等について学ぶ。					田中	
10	憲法概論5	[講義] 自由権・社会権・参政権等について学ぶ。					田中	
11	憲法概論6	[講義] 国会・内閣について学ぶ。					田中	
12	憲法概論7	[講義] 裁判所・違憲審査制等について学ぶ。					田中	
13	行政法概論1	[講義] 行政法総論・行政救済法について学ぶ。					田中	
14	行政法概論2	[講義] 行政組織法・地方自治法について学ぶ。					田中	
15	評価						田中	
教科書	指定しない		参考書	「法学入門 第3版」田中成明、有斐閣、2023年 「憲法 第8版」芦部信喜(高橋和之補訂)、岩波書店、2023年 その他の関連資料等を講義時に適宜紹介する				
履修条件	なし		評価方法	1. レポート(100%) 2. 学習態度(減点法) 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する				
備考	テーマごとにレジュメ等を配布する。予習として、参考書及び関連資料等を読むこと。復習として、講義内容を自分の言葉でまとめること。予習復習時間は46時間以上。なお、この授業科目は、養護教諭二種免許状の申請に必要な科目である。							

授業科目	文化人類学	責任者	田中 大介	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 なし
		調整者	大塚 公一郎	時間数	15	受講セメスター	1・4年次 後学期	
学習目的と 到達目標	目的	家族と親族、地域社会・共同体・民族などの概念から、わが国の土着の文化を含めた多様な文化への理解を深め、文化の比較を行い、文化人類学を理解する。						
	到達目標	文化がもつ様々な働きや、思考・行動との関係性を具体的に理解し、患者の多様な受療行動の文化的・社会的背景を見通す視点を獲得する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1	人間・社会・文化	[講義] 全般的な学問体系における文化人類学の位置づけと意義を学ぶ。					田中	
2	文化人類学の歴史的展開： ①進化主義	[講義] 文化人類学の黎明期における進化主義の中心を構成する学説と、その社会的影響について学ぶ。					田中	
3	文化人類学の歴史的展開： ②機能主義	[講義] 参与観察に基づく民族誌と、その背景にある機能主義の視座および手法について理解する。					田中	
4	文化人類学の歴史的展開： ③構造主義	[講義] 機能主義以降の文化人類学理論の中でも特に広汎な影響を及ぼした構造主義の思考方法を学ぶ。					田中	
5	医療と文化人類学： ①ケアとは何か	[講義] ケア概念に対する考察を通じて、医療人類学の基礎的な視点を理解する。					田中	
6	医療と文化人類学： ②ライフコースの視座	[講義] ライフコース概念に着目して、人間の生と死をめぐる根源的な問題を考える。					田中	
7	医療と文化人類学： ③健康と病い	[講義] 健康と病いの背後にある文化的・社会的な動向と、その現代的な変化について学ぶ。					田中	
8	評価						田中	
教科書	指定しない			参考書等	指定しない			
履修条件	なし			評価方法	1. レポートその他の授業課題 (70%) 2. 授業への貢献度および参加態度 (30%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	授業の進度や履修者の関心などを総合的に勘案して、上記に示した各回の学習課題や内容を変更する可能性がある。ただし、その場合は授業内で適宜告知する。また、授業内で示した課題を通じて着実に予習復習を進め、関心のある内容については自ら精力的に探究を進めること。予習復習時間は23時間以上。							

授業科目	ジェンダー論	責任者	成田 伸	単位数	1	必修選択別	選択	履修条件 なし
		学内調整者	角川 志穂	時間数	15	受講semester	1・4年次 後学期	
学習目的と 到達目標	目的	ジェンダーの概念を理解すると共に、セクシュアリティを有する人間生活におけるさまざまな事象をジェンダーの視点から見直すことを学ぶ。さらには、ジェンダーと医療・看護との関係について考察する。						
	到達目標	1. ジェンダーの概念を理解し、セクシュアリティを有する人間生活における様々な事象をジェンダーの視点から考察する。 2. セクシュアリティとジェンダーの関係性を理解する。 3. ジェンダーと医療・看護との関係について考察する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法					担当教員	
1・2	ジェンダーの基礎的概念	[講義] ジェンダーについての基礎的概念について学習する。					白井	
3・4	ジェンダーの視点から みた日本の社会	[講義] ジェンダーの視点から、日本の社会を見直し、考える。					白井	
5	セクシュアリティとジェンダー	[講義] 性別・セックス、セクシュアリティ等の概念とジェンダーとの関係について学習する。					成田	
6・7	ジェンダーと医療・看護	[講義・演習] 医療・看護に潜むジェンダーの問題について考える。					成田	
8	評価						成田	
教科書	指定しない			参考書等	なし			
履修条件	なし			評価方法	1. 課題レポート (60%) 2. 毎回の講義についての意見の表明の評価 (40%) 【評価のフィードバック方法】 学生に講評する			
備考	看護すること、看護職であることは、ジェンダーと密接な関係にある。 特に将来助産師になることを希望する学生には、履修をお勧めする。 受講中は、新聞での報道や IT 情報等に関心を持ち、事前学習すること。また講義で紹介した内容についても同様に情報収集することで復習となる。それらの学習の積み重ね、内容豊富な課題レポートを仕上げる。 予習復習時間は23時間以上とする。							

授業科目	情報学	科目責任者	関山 友子	単位数	2	必修選択別	選択	履修条件 なし
				時間数	30	受講セメスター	1・4年次 後学期	
学習目的と 到達目標	目的	情報とは何かを学び、情報量の概念を理解し、メディアリテラシー能力を養う。						
	到達目標	1. 情報や情報学を理解し、情報学の医療や看護にとっての必要性を理解する。 2. コンピュータの仕組み、情報処理の仕組みなど、情報学の基礎的な知識を習得する。 3. メディアリテラシー能力を養う。 4. 情報（ネットワーク）モラルを理解する。						
回数 (1回90分)	学習課題	学習内容ならびに方法						担当教員
1	情報科学の基礎	[講義] 情報とは何か、情報量、情報の符号化などを学習する。						関山
2	看護と情報 / コンピュータの基礎	[講義] 「看護」における情報の役割を整理する。 コンピュータの基本的な機能を概説できるようにする。						浅田
3	コンピュータと ネットワーク	[講義] ハードウェアとは何か、ソフトウェアとは何か、インターネットの仕組みとは、などを概説できるようにする。						浅田
4	院内情報システムと 情報倫理	[講義] 院内における情報システムの役割、情報を扱う上での倫理や法律について、事例を含めて検討できるようにする。						浅田
5	情報リテラシー (1)	[講義] 情報リテラシー、特にオンライン上でのコミュニケーション手法について、事例を含めて検討できるようにする。						浅田
6	情報リテラシー (2)	[講義] オンライン上で情報を受発信する際の注意点、AI などの最新トピックに関して内容が概説できるようにする。						浅田
7	コンピュータの基本的な 操作	[演習] コンピュータの基本的な操作方法を学習する。						関山
8	ワープロソフト演習	[演習] ワープロソフトを用いて文書を作成する能力を習得する。						関山
9～12	表計算ソフト演習	[演習] 表計算ソフトを用いて表やグラフを作成する能力を習得する。						関山
13・14	プレゼンテーションソフト 演習	[演習] プレゼンテーションソフトを用いてスライドを作成する能力を習得する。						関山
15	試験							関山
教科書	「これだけは知っておこう！ 情報リテラシー (改訂第5版)」noa出版編集、noa出版、2024年			参考書等	「系統看護学講座 別巻 看護情報学 第3版」中山和弘他、医学書院、2021年 「考える 伝える 分かちあう 情報活用力」本田 直也監修、noa出版、2017年			
履修条件	なし			評価方法	1. 筆記試験 (70%) 2. レポート (15%) 3. 学習態度 (15%) 【評価のフィードバック方法】 模範解答等を掲載する			
備考	情報学は、他のすべての科目と密接な関わりをもつ科目である。演習については、単に課題をこなすのではなく、能力を習得することを目標として取り組む必要がある。配布資料や Moodle 等で十分復習をして定期試験に臨むこと。予習復習時間は46時間以上。また、本科目は養護教諭二種免許状の申請に必要な科目である。							